第1部

アーチ・クランフ・ソサイエティ「AKSとは何か」　読み上げ文

2021年9月

米谷龍三

序論

私は札幌東RCに所属しております、コメタニ　リュウゾウと申します。

同時に今期は地区財団資金推進委員会の委員長を仰せつかっておりますのでよろしくお願いします。

本日は財団プログラムの中一つでありますアーチ・クランフ・ソサエティ、AKSのご説明の他、RI本部に付きましても少しご紹介いたしたいと存じます。

なお、本日のスライド類にはRI本部より提供された写真と、私自身が撮影したものが取り混ぜて使用されております。　又、内容は2018年2月に東クラブの例会時に放映されたものですので、読み上げ文とスライドの内容に多少の食い違いがあります事をお許しください。

1. 米国・イリノイ州の地図です。

２.　 RI本部が置かれているイリノイ州、Evanstonはシカゴのベットタウンとして発達しました。名門ノースウエスタン大学を始め多くの大学があり、大変環境が良い都市として知られています。

3. Evanston の町の風景。大変のどかな美しい佇まいを見せておりました。

4. RI本部のビル。徒歩4,5分の駅の近くにあり、見学者は予約なしでも入館は可能です。ロータリアンであれば、案内嬢が親切に館内

をくまなく案内をして頂けます。

5. 　ロータリアンが初めて例会を開いた部屋。

6. 　1905年2月23日のカレンダーが掲げられております。

7.　 RI会長の執務室。（１）

8. 　RI会長の執務室。（２）窓からミシガン湖が眺望できる。

9.　 理事会室。

10.　 2012~2013年度（平成24年～25年度）理事のメンバー

　中央には田中作次会長がおられます。

11.　 アーチ・クランフ・ソサエティの歴史

12. 　アーチ・クランフ・ソサエティの設立

13.　 アーチ・クランフ・ソサエティの入会について

14. 　シェア・システム

15. 　AKS 世界のメンバー上位7か国

　ちなみに第2510地区では札幌幌南RCの羽部PGと私の2名で、

　第2500地区では釧路RCの小船井PGと帯広北RCの細川PG

　の2名です。

16.　AKS　ギャラリーのエントランス

17. ギャラリーの内部。約700枚の画像全てが飾られておりました。

18. 　AKS会員の肖像写真

19. 　米谷龍三　冠名平和基金の証書

20. 　ロータリー財団・メジャードナー午餐会とAKSの入会式

　　グランドニッコー東京台場で開催された。

21. 　全国（第一、第二、第三ゾーン）から参加されたロータリアン

　　の方々。

22. 　2017-2018年度　RI会長　イアン・ライズリー氏の挨拶

23. 　RI 会長　イアン・ライズリー氏と田中作次元RI会長

24.　まとめ

25. 　これで第１部を終了いたします

　引き続き第２部の 「AKSの入会式に参列して」と題したスライドをご覧ください。